

2026年度 来日行政官・技術者との交流プログラムリスト

No.	研修コース名	人数	訪問希望時期	研修員の出身国	交流実施確定の期限	学校訪問での希望	コース言語
1	持続性と強靱性確保のための防災（ラテンアメリカ）	11	6月下旬	キューバ(1)、ドミニカ共和国(1)、エルサルバドル(1)、グアテマラ(1)、メキシコ(1)、ニカラグア(1)、チリ(1)、コロンビア(1)、エクアドル(1)、ペルー(1)、ウルグアイ(1)	可能な限り早期に	可能であれば防災や災害をテーマに意見交換や交流。交流とは別時間で、学校の耐震設備（体育館の屋根や収納スペースのツッパリ棒など）を日本の学校でどのような対策がとられているか見学希望。	スペイン語
2	シエラレオネ 看護管理・医療器材維持管理	10	7月中旬	シエラレオネ	可能な限り早期に	看護大学や看護専門学校との交流を希望。	英語
3	ICT案件形成能力向上(A)	11	8月下旬～9月上旬	カンボジア(1)、東ティモール(1)、フィジー(1)、パラオ(1)、ベリーズ(1)、セントルシア(1)、ペルー(1)、タンザニア(1)、ザンビア(1)、カーボベルデ(1)、ルワンダ(1)	可能な限り早期に	日本の中等教育におけるICT教育の現場視察と学生との国際交流。	英語
4	投資促進・ビジネス環境整備（A）	13	9月下旬 (可能であれば9/18)	インドネシア、カンボジア、モンゴル、バングラデシュ、ネパール、ベリーズ、イラク、トルクメニスタン、ウズベキスタン（2）、ラオス、インドネシア、メキシコ	7月下旬	「整理・整頓・清掃・清潔・躰」が学校現場で指導されている様子の見学（例えば、掃除をしたり、給食時に児童・生徒が協力して配膳や後片付けしたり、時間厳守で行動する様子など）。	英語
5	交通安全	14	11月上旬～下旬	マレーシア、カンボジア、バングラデシュ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、エジプト、モロッコ、ケニア、ジブチ、ルワンダ、シエラレオネ、コンゴ民主共和国、トンガ	可能な限り早期に	学生との国際交流。研修員は母国の歴史・文化・食生活・スポーツなどを15分英語でプレゼン可能。	英語
6	中小企業振興政策（B）	10	1月後半～2月上旬	カメルーン、コートジボワール、エチオピア、ガーナ、ケニア（2）、マラウイ、モザンビーク、ザンビア、ジンバブエ	11月末まで	【高校の場合】工業高校、高専など、技術者の育成を行う学校や商業高校。 【大学の場合】起業や経営に関して学んでいる大学生と、ビジネスに関するワークショップ等を希望。	英語
7	ICT案件形成能力向上(B)	17	2月上旬～2月下旬	マレーシア(1)、モンゴル(1)、ソロモン(1)、エルサルバドル(1)、パレスチナ(1)、イエメン(1)、エジプト(1)、ボツワナ(1)、ナミビア(1)、コートジボワール(1)、トーゴ(1)、南スーダン(1)、キルギス(1)、タジキスタン(1)、トルクメニスタン(1)、ジョージア(1)、プータン(1)	9月以降	日本の中等教育におけるICT教育の現場視察と学生との国際交流。研修員は母国の歴史・文化・食生活・スポーツなどを15分英語でプレゼン可能。	英語